

# 『現代若者研究』メルマガ版

【第2回：20代社会人かく語りき】

2021年8月



# 『現代若者研究』メルマガ版の試み

ハイライフ研究所では昨年度まで、大学生～20代社会人を研究してきた。

公益財団法人ハイライフ研究所では、2019年度に大学生を対象に研究を行い、引き続き2020年度に20代社会人を対象に研究をおこなっています。その詳細は、2冊の報告書としてすでに公開しております。

しかし、私たちハイライフ研究所の若者に対する関心はまだまだ尽きることがありません。そこで、メルマガの形で研究を深めていくことにいたしました。メルマガ発信に際しては、以下を心がけてまいります。

そして、ハイライフ研究所ホームページにアーカイブしてまいります。

## メルマガ版での試み その一

過去に発表した報告書で伝えきれていない部分を伝えていく。

## メルマガ版での試み その二

若者に関して、新たに沸き起こる興味を紐解いていく。

## メルマガ版での試み その三

読みやすく、楽しく、面白く、伝えていく。

なお、内容にご興味をお持ちになった方は、是非とも報告書本体もご参照ください。

※[ハイライフ研究所ホームページ](#)にてご覧いただけます。

(下記報告書の表紙をクリックしていただくと、各報告書 pdf. にジャンプいたします)



## 第2回のテーマは、 20代社会人かく語り

2020年度におこなった「20代社会人対象の調査」のグループインタビューを材料として…

“ゆとり世代”や“きとり世代”と言われている20代。  
だが、20代社会人、合計32人の話を実際に聞いてみると、  
彼らは瑞々しく、また、真摯に、今を生きていると感じた。

そんな彼らの言葉を中心に据え、  
その奥にある気持ちを捉えていく。

### 使用データ

#### 現代若者研究報告書 社会人編

##### 【定性調査】

■目的:生の声を聞くことで、20代社会人像を捉える手がかりを得る

■手法:オンラインを活用したグループインタビュー調査 ※1グループ 2時間程度

■対象者共通条件:

- ・23～29才男女
- ・4年生大学、もしくは、大学院卒業者
- ・入社後2～6年程度、かつ、転職経験なし

■グループ数、及び、調査数:11グループ、合計32名（男性5グループ、女性6グループ）

※オンラインであることを鑑み、1グループを基本3名で設定

■実査時期:2020年8月28日～9月6日

■調査実施機関:統計調査センター株式会社

■グループ構成

男性5グループ

- ・ 文系職業 首都圏出身&在住
- ・ 理系職業 首都圏出身
- ・ 転職意向有 首都圏在住
- ・ 地方出身&在住①
- ・ 地方出身&在住②

女性6グループ

- ・ 大企業勤務 首都圏出身&在住
- ・ 中小規模企業勤務 首都圏出身&在住
- ・ 大企業勤務 地方出身&首都圏在住
- ・ 転職意向有 地方出身&首都圏在住
- ・ 地方出身&在住①
- ・ 地方出身&在住②

They said:

最初やりがいなかったのが、歯車になっているのかなという気持ちがあったが、最近はそのでいいのかなという疑問も持つようになっていく。自分なりの意見を持ってやっていきたいという部分がある。できる先輩と、なあなあでずっと定年間近までやっている人もいる。会社の中でも千差万別で、そういうの見てると将来のキャリアを考えるきっかけになる。最初は全然やりたいことが違ったとはいえ、今のままでいいのかと考える。  
(27才、医療系企業勤務)

学生の時はもっと社会人はガンガン働いて、すごい人達ばかり周りにいて、どんどんお金を稼いで、世の中に貢献している人ばかりだと思っただが、実際にはだらっとではないが、高い評価を目指すとか、昇進を目指す人ばかりではない。普通に日常業務をこなしている人のほうが多いというのがあった。どんどん自分の尖がりがなくなって会社の歯車にはまっている感覚がある。(29才、住設機器卸会社勤務)

歯車のように惰性で働くおじさん達は、彼らの気持ちをそぐ。  
だが、反面教師として自分の今後を考えるきっかけにはなる。

They said:

結局、人材としての価値とか、自分の能力とか市場価値ではないが、自分の仕事を前向きにできるようにならないとこれから先まずい。この間もニュースを見て驚いたが、設計業務もAIとかコンピュータがやれるようになる。今は図面とかも3dCADとか三次元とかで全部やる。ARで勝手に住宅がそのうちできるようになる。そしたら自分の仕事は将来的に価値がなくなるのかなと考えている。人と関わりを持って必要とされる仕事をしないとまずい。  
(29才、住設機器卸会社勤務)

ひとつの会社にずっといればいいという時代じゃなくなっていると思ってる。市場価値ということを高めていかないといけないと感じている。変ないい方すると、いつでも転職できる能力と意識がある人と、ずっとこの会社にいたらいいという意識の人は大分違う。ずっと学び続ける意識を得るのは大事だなと感じている。  
(29才、旅行会社勤務)

今の仕事や会社がずっと続くとは思えない彼ら。  
だから、価値ある人材にならなければ生き残れないという危機感をもつ。

They said:

こんなに上の人にへいこらす必要があるのかなというくらいする。自分もそれに染まってきているのかなと思う。自分でも嫌だと思う。でも、すみませんと気を遣っている感じ。評価でも上の人に気に入られるかどうかが大変な感じがある。何だろうというのがある。働くって何だろうとすごく感じるのがある。変えたいが雰囲気には負けるかなと思う。何となくそういう雰囲気がある。上の人言ったことに合わせる雰囲気がある。  
(28才、製造業勤務)

仕事内容だけ見たら意外と楽かもしれないなというのがあるが、働いていて一番大変なのは人間関係かなというのがある。思っていることを口に出さないと上司も分かるわけではないので、発言しないといけないなどは思いつつ、発言する時としない時がある。その発言が受け入れられないかなとか、発言するに足る準備ができていないかなというのがある。発言してもすぐに却下されるのかなと思うと発言しない。(26才、食品メーカー勤務)

村度や斟酌など人間関係の煩わしさの洗礼を受ける。  
染まるのはイヤだと思いつつも、これはなかなかの難敵。

They said:

(仕事をしている理由は)生活のためという最低条件はある。あとは職場内でもつくった商品を通してでもいいが、誰かに認められたいというのがあるのでそれで認められたら自分も嬉しいので、その喜びを実感するのに働いている。～自分がやりたい職種で入っているわけなので、自分は汎用的にあれもこれも手をつけてというよりは、専門性を高めてその道のスペシャリストになりたいのがあるので、違う職種に行きたいのではない。  
(26才、食品メーカー勤務)

お金が欲しいから稼ぐ手段の一つとして仕事をしている。2番目は楽しさとかやりがい。今の機械系の仕事は幼稚園生とかそれくらいの時から何となくやりたいなど思っていた仕事だったので、夢とか憧れの的などもある。～この道に踏み込んだ感じは自分の中であるので、その中で深掘りしたい。新しい領域に踏み込むという意味で別の事をやろうとは思わない。  
(29才、工作機器メーカー勤務)

仕事内容にやりがいや喜びを見出せると、  
仕事と人生が交わる。ブレることなく、着々と進む。

They said:

父はひとつの会社にずっと務めていた。今では考えられない終身雇用。うん十年同じ会社。それが当たり前だという時期もあったが、知恵がついてくるとそうではない。一生ひとつの会社で定年までいるというのはここから先はそうなのではないかと思う。そこは昔と今は違うと思う。(26才、システムエンジニア)

よく「舐めているな」と言われる。反論するわけではないが、自分のできる範囲で最大限はやっている。親みたいにひたむきにやるのが正義だとは思っていない。極力、頑張らないでお金を稼げるのが正義だと思っている。(25才、IT系コンサル勤務)

愚直さが歓迎された親の時代とは違う時代を生きている。  
“知恵のついている”彼らには違う正義がある。

They said:

社会人は働くだけで大変だなと思う。長く働いている人はすごいと思うようになった。学生の頃は長く働いても大したことをしていなければと思っていたけど、最近は日々の疲れを感じているので長く働ける人はすごいと思う。学生時代は長く働いてもしんどいことはないと思っていた。でも自分で働いてしんどさがわかってきた。勤続年数もすごいと思う。大企業の役員になっていく人はめちゃくちゃ長い。すごいと思う。自分はまだ4年。あと15倍ぐらい働かないといけないのかと思うとしんどい。(25才、IT系コンサル勤務)

長期間働き続けることに畏怖の念も持ち始めている。  
先を見つめてしまうと“しんどさ”を感じてしまう。

They said:

会社に入って前年度は業績がよかったけど、入ってしばらくしたら業績が悪くなった。会社に安定を求めたらダメだなと思った。結局どんな船に乗ってもいつかは沈む。自分で船を移れる方法や漕げる方法を考えた方がいいと思った。船は絶対に沈む。そもそもその会社がずっと続くというのが前提になっているけど、今の時代はそれはない。どこの会社もどんな状況でつぶれるかわからない。コロナがいい例。同じ場所にいるのではなく、いつでも場所を移れるように自分の力をつけておく。昔は熱血だったが、今はシビアでドライな感じ。そこがダメなら去っていきますという感じ。(25才、製造業勤務)

会社に頼り過ぎると一緒に沈没することになるという危機感。  
会社に対して斜めに構え、自分に力をつけて切り抜けるしかないのだ。

They said:

これから先スキルアップとか自分にプラスになるなら転職も考えている。上司と一緒にずっと近くで仕事をしていると、**役職が付いただけで、やっている内容は変わらない**。現場で仕事をしているので、**会社が倒産というかなくなった場合に、他で通用しないと怖いというのがある**。職場環境はいいがその点がちょっと不安というか不満がある。●●県は人口が減ったりしているので、金融機関の悩みとか課題は共通だと思う。取引先の顧客とか企業が減っていく状況でやっているのはまずいんじゃないかと思う。  
(25才、銀行勤務A)

学生の時は何も考えていなかったので、名の知れたところに行こうと思って金融機関に入った。**大企業でも安定している時代ではない**。銀行はなくならないがずっと働けるわけではない。**付加価値を生み出す人間にならないといけないと感じている**。日本は終身雇用とか年功序列が続いているが、**実力主義の評価体系**に変わっているので、会社が使えないと思う人材は簡単に首にはされないが、待遇が悪くなったり窓際に寄せられるので、**能力がないと生き残れないと思いつめた**。やばいなど思っている。(25才、銀行勤務B)

会社がなくなる不安、会社がなくなっても不安。

どちらにしても、確かな能力がないと生き残れないと自覚。

They said:

(働く理由は)まずは食っていくため、生きていくため。2番目は楽しめないという意味がないというか、同じ8時間週5日働くとして楽しいことをしているのと、楽しくないことをするのは幸福度が違う。**自分の生活の満足を得るために**仕事に就くのが一つかなと思う。3番目は**人として成長するため**。というのもやはり色々な人が世の中にいるので、考え方も人それぞれ違うと思う。人と会ってこの人はこういう考え方をしているんだと気づかされるので、自分も気を付けてみようと思う。(25才、貴金属メーカー勤務)

1番目がお金を稼ぐこと。生活していくため。次に、**社会貢献というか人の役に立つため、あとは自分の成長のため**。(社会貢献とは)国全体として発展するとか、人々の幸福度が上がるとか。～直接ではないが間接的に自分がやっている仕事は、どれも人のためになっていると思う。何のために働くかという人々の役に立つためもあると思う。(25才、銀行勤務B)

1つ目は給料。自分の趣味とか生活のいい物を買ったりに使っていきたい。2番目が**やりがい**。**達成感**を得て仕事がしたいということがある。～3つ目は**社会のために役立っているかどうかが**、働く上で大事だなと考えている。(25才、銀行勤務A)

生活のために働く。だが、それだけではモチベーションが保てない。

気持ちの充実、やりがい、自分の成長、社会のため…理由を見つける。

They said:

やる気はなくはないけど、めちゃめちゃ仕事を何時間もしたい感じではない。もっとやればできると思うけど時間がかかるので、決められた今の労働時間でできるのはこのくらいかな。調整している部分がある。調整するから1日に業務時間を終えてプライベートの時間が使えるのかなと。学生の時はもっと忙しいと思っていた。今はそれが無い状況。コントロールしているところはある。(29才、食品メーカー勤務)

仕事は手早く片付けていくようにバリバリ働く。とは言っても自分の持ち場の範囲内で。かと言って残業をバリバリする感じではない。趣味じゃないけど、私生活を充実できたらいい。(26才、精密機器メーカー勤務)

長時間働くことは受け入れがたい。しかし・・・  
彼らにとって、プライベート重視とバリバリ働くことは相反しない。

They said:

上司は手本とはあまり思わない。遅くまで仕事してたりとか、1日社内にしたのに何してたのかなとか、もっと効率的にできるんじゃないのかなって傍から見てるとそう思う。仕事の進め方とか、会議の資料を作る時とか、同じことを何度も確認したりして1回で資料をメールで送ればいいんじゃないかとか、打ち合わせも会社を集まってだけズームで家からでもできるんじゃないかなとか。(29才、食品メーカー勤務)

無駄なことは会社勤めしていると結構あるかなと思う。書類回すのにワードもあるのにわざわざ紙を回すのは無駄だなと思う。別に紙に出さなくていいんじゃないかと話したことはあったけど、色々理由を言われて拒絶されて腑に落ちない、何かなーという気持ちになった。上の方は安定を求めるといふか、変えるのに抵抗感があるのかな。  
(26才、精密機器メーカー勤務)

上司たちは無駄なことに時間を使っているように見える。  
自分たちの時代になったらもっと効率よく仕事するつもり。

They said:

就職はたまたま、工場がここだから。転勤の可能性はある、まあいいかな、上から言われたら異動しますと。東京でも構わない。東京にというイメージはない。ゴミゴミしていて、わざわざ自分で選んでは行かないかなという考え。(26才、精密機器メーカー勤務)

転勤になったら行くけれど、特に東京に強い思い入れはない。



They said:

年間で貯金の目標を立てているので、まあ、貯金を崩せばいいんだけど、(コロナでボーナスが減るのは)それも将来の為の預金なので困る。

一応は老後のためと決めている。定年後。何か結婚するとか家を買うとか予定があればいいけど、老後2,000万というのがあったから今から貯めている。早いうちに貯めたら、すっきりするかなと思って。まあ、結婚できればいいけど、特に予定もないので、老後しかまだ見えてる予定がないって感じ。(29才、運送会社勤務)

毎月の給料もボーナスも貯金額は決めている。貯めてるけど目的は特にないかもれない。毎月、会社で財形って、勝手にお給料から引かれるのをやっていて、それと自分の貯金で、首になっても生活できる位の貯金をしておいたらいいのかなというおまかな。(26才、不動産会社勤務)

目先ばかりではなく、老後の経済状態も不安。  
頼りない社会だからこそ、早々に身につく自助努力の姿勢。

They said:

責任あるポジションにはつきたくない。細く長く働きたい。結婚して止めるのは金銭面で大きいので考えてない、続けたい。でも上の人は大変そうなので、責任がある、そんな荷の重い仕事はしたくない。課長?いやいやない。いわゆる体育会系のところで上にあがっていきける気がしない。

うちは(女性を)養成したがってて、うちの支店は珍しく女性が副支店長。肩書のついた女性はあまりよろしくないと思っている。女性は気分には差が激しいところがあると思う。うちの副支店長は自分で止められる人だから、あ、言いすぎたなどブレーキが踏める人だったけど、今の直属上司は機嫌が天気のように変わるので、人としてどうか。(26才、銀行勤務)

身近な先輩ですごく可愛い人で、性格もいい人で、若くして別の会社の人と結婚して、仕事もやりつつ、プライベートで旦那さんと楽しんでいて、憧れる。なりたいと思う。(26才、銀行勤務)

女性の営業さんがけっこういて、男性より稼いでる女性も結構いるので、素直に凄いと思うし、そういう人って人としていい人。~すごく頑張ってる。要領いいと思うので。そういう人ほどプライベートは犠牲にしてない。仕事できない人ほどプライベートを犠牲にしているので、犠牲にしてないから凄いと思う。(26才、不動産会社勤務)

肩書のついた女性上司を素直に歓迎する気にはなれない。  
憧れるのは、プライベートが充実した、程よい仕事ぶりの先輩女性。

They said:

(仕事をしている理由の2つ目は) 周りからの目、世間体。まともな社会人になるために職に就く。(25才、食品メーカー勤務)

(仕事をしている理由の3つ目は) 世間体。世間体っていうか、働いていないとカードとか使えないし、友達に会った時にも今働いてないとは言いたくない感じ。友達がフリーターでも全然いいんだけど、自分がそうなる理由もないし。

世間の目は相当気にしてるほうだと思う。  
(28才、地方公務員)

仕事をしていないと世間体が悪い。  
仕事をしている = まともな社会人であること、と認識。

They said:

うちは仕事できない人が多いのでちょっとやれば売れる。アホっぽい人が多い。40、50代の仕事できないおじさんがいっぱいいて、それが基準なのでちょっとやればついていける。この前も仕事中にアウトレット行って買物したり、楽なだけで、一方でやりがいがないのでこのままでいいのかと。楽をとるか、やりがいをとるか迷っているところ。いっぱい売ったからボーナスが上がるわけではないので、やりがいがあって、やった分だけ貰えるところのほうが、さらにやりがいもできると思うので。そういう会社に行くか、やりがいを諦めて楽して生きるか、どっちがいいか迷い中。仕事はつまらないけど割り切って楽して生きるか、ちょっと辛いけど頑張って楽しい会社がいいか。(25才、食品メーカー勤務)

教育大にいた。実習先の人間関係みて大変そうだなと思って色々考えて、(教員になるのを)止めたので、そういう意味ではやりがいは低い。学生時代にやりたい仕事に就いてる訳ではない。今の仕事は大変だけどやりがいがあることより、自分の生活を重視して選んだ仕事なので。どんな仕事でも1日中やらなくてはならない。だったら、大変でもやりがいがあった仕事のほうがいいのかなどは思ったりはする。未だに迷う。仕事を変えるとか教員やるとかは考えはするけど、なかなかエネルギーがいるというか。(28才、地方公務員)

プライベートでの“ラク”を優先し、退屈な仕事に甘んじる日々。  
真の楽しさとは何か、気持ちは大きく揺れている。

They said:

就活のときは会社に入ったらバリバリ働いてステップアップしたいとやる気があったけど、働いてキャリアと言われると突然萎える人間になっていた。女性マネージャーや女性リーダーを増やそうと、若手のうちからコーチングをして、教育、早回しのキャリアを経験させよという流れがあるが、何を言われても全然やる気が出てこない。反抗的な気分になる。

働く前はバリバリ働くものだと思っていた。そがれていった。上の人(女性)たちを見てというのもあるかもしれない。まじで大変そう。子どもを持っている人も多い。家事や育児で愚痴っている人もいる。それなら仕事で頑張らないでそこそこでやった方がいいのではないかと思う。両立というのは無理ゲーなのではないかと思っている。キャリアでうまくやっている人もいる。でも自分はそうはなりたくないかと思う。別人だと思ってしまう。自分とは重ねられない。自分は能力もないし、努力もできない。(28才、飲料メーカー勤務)

女性の課長は1人だけ。うちの会社で初めて育休制度を作った人。エンジニアさん。50代半ば。その時代の女でエンジニアで育児出産してバリバリ働いている人は相当稀有。コーポレート系ではいるかもしれないけど、エンジニア系だとそれぐらい強い人でないと勝ち残れない。育休、産休をとると営業は続けられないから辞めてしまう。

だから子どもを産まないでうちの会社でめちゃくちゃ頑張るか、転職をしてめちゃくちゃ頑張るか、頑張らないで事務系の部署に異動するかの三択になる。(25才、IT系企業勤務)

女性だとここまで頑張らないといけないのかという現実。  
ハードルが上がり、むしろ前向きになれなくなる。

They said:

(仕事は)自分のライフワーク、日々のペースメーカーみたいな意味もあるのかなと思う。会社を選ぶときに考えたのは、自分が関わりたいと思ったところに関わる。自分はお酒の場が好きだったから、それをひとつの役割として関わるといことで今の会社を選んだ。下支えしたいところに関わる。関わるための手段。年数がたつとマンネリ化してしまうが、ふとしたときにこの社員だったと思うことがある。(28才、飲料メーカー勤務)

(仕事では)個人でできないことができる。対会社間の取引は億とか何千万も動く。Yahoo!、NTTデータ、ドコモのシステムも作っているから、ここで自分がサーバーを壊したら世の中の人が携帯を使えなくなる。世の中を下支えということは会社に入らないとできない。自分1人ではできない。大きいことをするのは1人ではできないと思った。企業に属するのなら1人ではできないことをしたいと思った。(25才、IT系企業勤務)

世の中を下支えするような仕事をしたい・・・  
そんな志はあれど、志だけでは走り抜けない。

They said:

これまで勝てるフィールド、自分の得意分野でしか勝負していなかったが、会社に入って丸裸になった。一番になれそうなことで一番になっていたが、会社に入るとそれ以外のこともしないとイケない。負ける勝負には出ないんだと1~2年目の頃は言われた。勝てる試合ばかりすると言われた。何事もスマートにこなそうとうするが、もうちょっと泥臭く頑張れという話をされた。苦手なところがむしやりに頑張ってみようという話はされた。ごさかしいガキだったんだと思う。(27才、人材系企業勤務)

仕事では簡単にデキる子として振る舞えない。  
やりたくないことや苦手なことにも踏み入るのが仕事と知る。

They said:

上の役職に上がろうとは思わない。上の役職の人達はすごく辛そう、大変そうなので自分ではできないと思った。だから役職には上がりたくない。給料は稼げない。  
結婚をしても仕事はしたいが、そんなにきつい仕事はしたくない。少しでもいいから稼げたらいい。お金は稼ぎたい。(24才、保険会社勤務)

そんなに社会に必要とされてみたい欲求はない。仕事を続けたい気持ちもない。結婚しても、多分働き続ける。自分が働きたいから働くというよりは、結婚をした世帯の生活の水準とか、子どもに与えられる何かを考えた時に、自分が働いたほうがいいなら働く。  
旦那が2,000万円稼いでくるから大丈夫といったら家に入る。働いた分は子どもが大学に行きたいという時に出してあげるために必要だったら働くと思う。自分がこういうキャリアで大成したいは今ヴィジョンとしてはない。(27才、人材系企業勤務)

結婚したら、主婦気分で何らかの形で仕事はするつもり。  
だから、長期のキャリアプランは頭がない。

They said:

(仕事とは)社会性の証明とかまともな人間であることの証明かなと思う。結婚したら結婚していることが社会性の証明かもしれない。独身である私にとっては、仕事をしているのは人と一緒に作業ができるとか、ちゃんと評価されるだけの成果を残せていることの組織に属していることかなと思う。だから社会性の証明かなと思う。(27才、人材系企業勤務)

今のタイミングは普通に仕事をしていれば、まともな人間。  
当たり前から外れずにいることを社会性と捉える。

They said:

転職。探せばあるかもしれないけど、そこまで飛び込むほどの勇気がない。～  
 高校や大学出て、看護師になりたいって言ってなった子とか美容師になりたいって言ってなった子とか、勤務形態は私のほうが楽はできてるかもしれないけど、好きなことややりたいことに向かっている人にはすごく憧れる。基本的な知識がついてるし、いいなと思う。  
 自分以外の家族もみんな専門的に、姉は保険とか医療系についてたり父は建築系についてたり母が音楽系についてたり。それに比べて自分はクリエイティブな趣味があるのに、何でもいい事務、私じゃなくてもできる事務の仕事をしてるから毎日モヤモヤしてる。  
 (24才、交通系企業勤務)

今のラクな仕事を簡単に捨てる気はしない。  
 だが、やりたいことを見つけて熱く頑張りたいという気持ちもある。

They said:

もし今後結婚とか出産とかして、だいたいのママさんはパートになると思うけど、そこで正社員として働いていたら生涯賃金はものすごい差が出ると思う。贅沢じゃなくていいけどゆとりある生活がしたい。結婚しても自分が欲しいものは自分のお金で買いたい。お金がなくなったらどうしようという不安は持ちたくない。  
 30代になるほど雇って貰えなくなるし、家族が転勤族だと余計に採用してもらえない門が狭くなると思うので今のうちにキャリアをつけてそれで継続したい。手に職をつけたいというか。重圧はイヤだけど、ある程度責任がある仕事じゃないとやる気が出ないので、生活の張りが出ないというか。でもパートだと責任ある仕事を任されることはない。どこかのレジとかになるんだったら、あなたにこの仕事をやってほしいと任せて貰える仕事が私は楽しい。  
 (26才、証券会社勤務)

家庭優先ではあると思うので、そこまでキャリアを追い求めたい気持ちはない。でも、パートになると今までのキャリアは無くなっちゃうし、それを無駄にするのはもったいない。収入も減るし。やりたい仕事ではないから人生がつまらなくなりそう。そこそこ今の職種を続けつつ、バリバリキャリアはいいかな。重圧とかが凄そう。仕事に集中しないとうまくやっていけないイメージがあって、そうすると家庭がおろそかになりそう。自分が役職についたら仕事に集中しないとできそうにない。(26才、IT系企業勤務)

家庭との両立を考えると、今のペースで働くのは無理。  
 でも、非正規は条件も悪いし、やりがいも得られないからイヤ。  
 結婚を契機に、どのようなキャリアプランを選ぶか悩ましい。

They said:

ほぼ徹夜もあった。朝4時までやって家に風呂だけ浴びに帰ってくる。それはこの歳ではもうできない。体力的に厳しい。年齢の高い上司とか先輩は今でも残業自慢をする。俺の若い頃はというのがある。「そうだったんですね。大変でしたね」と言う。今そうでなくて良かったなと思う。サービス残業で朝までやってすごいだろうというので、「そうですか」という感じ。  
(29才、建築系企業勤務)

前の残業が多かった部署では、周りの人が昔みたいに残業をしているのが格好いいと  
思っている人が多かったので、雰囲気は馴染めない。周りがそういう感じで帰りにくい。  
そういう人が(長時間)働いてくれたらいいかなと思う。私には無理かな。本当に仕事が好きで  
自分の時間を削っても仕事がしたいという感じで、それはそれでありかなと思った。  
(27才、保険会社勤務A)

残業自慢する上司や先輩にはついていけない。  
長時間労働は否定しないが、自分はしたくない、できない。

They said:

今は営業職だが、キャリアアップの一環で保険ショップとかお客さんが来店するところについてほしいと言われた。最初はすごくいいなと感じたが、今の仕事でいい思っている。個人としては今の生活スタイルのままで、昇進もなくていい。(27才、保険会社勤務B)

今の上司と割と上手くやっているので評価してもらっているが、会社からすると昇進とか女性役員を求められている気がする。自分ではその気がないのでどううまくかわしていこうかと思う。昇進するのがいいことだと大半の人が考えている。昇進したい人が上司になればいいと思う。働きたくないわけではなく、適度に仕事がしたい。そこを理解してくれる上司がいればいいなという感じ。(27才、保険会社勤務A)

あまり期待しないでほしいかなと思う。リーダー研修があって、女性社員が全体でも割合が少ないのでリーダーになる人も少ない。社長に女性のリーダーも増えてほしいと言われる。でも、(リーダーは)性別関係なく向いている人がやったらいいと思う。自分は向いていないと思うので気分が乗らない。(29才、建築系企業勤務)

女性だからといって過度に期待しないでほしい。  
フツーに働くのは楽しいが、昇進には興味がない。

## ちょっと考察・・・

20代社会人は“世の中”や“年上の人たち”を冷静に見極めて、彼らにとって居心地のいい仕事のスタイルを作りだそうとしているのだ。



まだ迷いや悩みもあるが、そこには今を反映した前向きさや知恵が含まれている。

### 特徴的な態度や態度①

- 会社に頼り過ぎず、会社と距離を置き、自分に力を蓄えようとする
  - 闇雲に頑張ったり、長時間労働したりしない
  - 仕事のために、自分の生活を犠牲にしたりしない
- ※ 彼らにとってこれらの態度と、バリバリ仕事をする事とは相反しないのだ

こういった20代の働き方は、年上の人たちにとって今後への示唆となる。年上の人たちこそ、時代に合わせて変わっていくべきこともあるのだ。

### 特徴的な態度や態度②

実は・・・

- 仕事にやりがいや喜びを見出したいと思っている
- 彼らなりのやり方で、“バリバリ”仕事をしたいと思っている

20代社会人が自ら切り開かなくてはならないのはもちろんのこと、上に立つ人たちが仕事や会社のあり方を改革していくべき部分も多い。

### 特徴的な態度や態度③

女性たちは・・・

- 仕事も家庭も超頑張らなくてはならないバリキャリを志向しない
  - 仕事における女性に対する過度の期待はかわしたいと思っている
- ⇒家庭という局面で相変わらず女性の役割は重たいのだから

20代社会人が自分たちにフィットした道筋を見つけなくてはならないとはいえ、社会や会社も女性たちがバランスの保ち易い仕組みを提示していく必要がある。